

No	提 案 名	提 案 団 体 名	
		代表者氏名	所 属
6	宇都宮市の街づくりと「都市の品格」 - アンケート調査を中心として -	作新学院大学 那須野ゼミナール 3年生	
		小林 裕司	作新学院大学 経営学部
		指導教員 氏 名	那須野 公人

1．研究の趣旨

最近、「品格」をキーワードとする著書が、相次いでベストセラーになりました。そこで、合併によって50万都市となった宇都宮市にも一定の品格が必要であると考え、「都市の品格」という観点から宇都宮市の問題点を検討してみることにしました。

ところで、『宇都宮まちづくり論集（ ） - 「外の目」に映る宇都宮 - 』（うつのみや市政研究センター、2006年3月）をみると、宇都宮市の問題点として、中心街の空洞化・衰退、JR宇都宮駅前と公共交通機関の貧弱さ等が指摘されています。これらを一言でいうなら、「都市の品格」という面での見劣り、と表現することもできます。そこで、上記のような宇都宮市のかかえる問題を、若者達がどのように考えているのかについて大学生を対象にアンケートを実施し、その調査の結果の分析にもとづいて、市に一定の提案を行いたいと考えました。

2．都市の品格とは

「都市の品格」については、具体的に次のような事柄を考えています。

- ・ 活気のある街
- ・ 美しい街
- ・ 住みやすい街
- ・ 外来者にやさしい街
- ・ 弱者にやさしい街
- ・ 環境配慮の行き届いた街